

おもいやり

— 中央東地区社協だより —

第 7 3 号

発行 中央東地区

社会福祉協議会

事務局 鎌ヶ谷市東初富

1 - 1 0 - 1

(東初富公民館内)

電話・FAX 442-5144

編集 広報啓発委員会



**12月1日開催のクリスマス会は初小・五中の演奏
フラメンコ(ロスボラーチョス)の踊り
抽選会で楽しいひと時でした**

中央東地区社協の活動範囲は
鎌ヶ谷東第一区連合自治会・東武鎌ヶ谷自治会・南初富連合自治会の地域です。



サロン翔友会 クリスマスリースづくり

クリスマスには、少し早い晩秋の11月27日(水)東初富公民館において、地域の皆様と今年1年の無事に感謝し、来年も良い年でありますよう心を込めクリスマス飾りを作りました。

お隣同志、出来上がったものを見て「あらステキ！カッコイイ」と言いながら楽しませておりました。また、スタッフによる手造りのカレーをいただき、満足され楽しいひと時を過ごしました。



介護予防教室

参加してみませんか・・・軽体操

12月17日(火)参加者は少ないスタートになりましたが、酒井先生をお呼びし、自宅でも出来る体操としてラップの芯を使ってたくさんのストレッチ方法の教えをうけ、また体をほぐした後、きれいな姿勢でのウォーキング方法についても教えて頂き、ジワット汗をかきました。

その後、市の歯科衛生士さんから口の手入れ・口の体操を指導して頂き、口の衰え予防の為に定期歯科検診が必要のことでした。

委員会活動

シーツ交換ボランティア

私たちボランティア育成委員会は、活動の一つに特別養護老人ホーム翔裕園で約15名～20名の委員がシーツ交換ボランティア活動を行っています。活動の目的は、月1回の活動ですが、そこで働いている人の作業がわずかでも軽減につながり結果として、入所している方に優しい気持ちで接していただければと思っています。

この活動には運営委員だけではなく地域で私たちの活動に賛同した人も参加していただいております。



笑顔に満ちた児童とのふれあい交流

当地区社協では、恒例になっている五本松小の児童と高齢者とのふれあい交流会が12月3日(火)に学校体育館で行われました。

児童は2年生99名、高齢者19名が参加。出し物としてあやとりや房総カルタなど9種類の昔あそびを楽しみました。

在学期間が2年足らずであるにもかかわらず、学校に慣れてきたこともあり、そのエネルギーには参加した高齢者もたじたじでゲームは熱気を感じました。

ゲームの後は、教室で児童と給食を一緒にとり可愛い孫のような子ども達との会話に高齢者は目を細め楽しい交流会になりました。

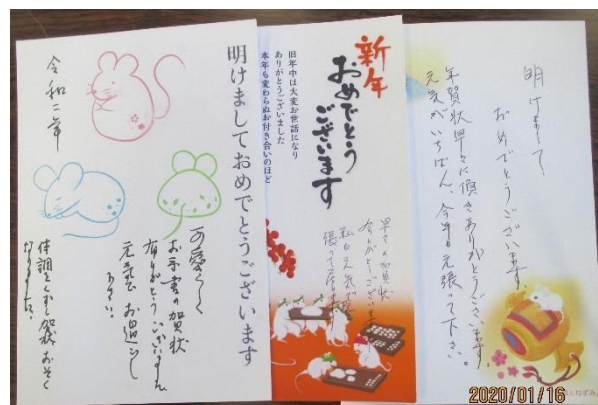


房総カルタ遊び

喜んでもらえたかな 僕たち私たちの年賀状

当地区社協は地域で77歳以上のひとり暮らしの高齢者に五中・五小・初小の生徒・児童の皆さんのご協力を得て年賀状を差し上げております。このことは福祉教育の一環と考えておりますが五中の鞠子教頭先生からは大変有意義と評価の言葉をいただきました。

なお年賀状を書いた生徒・児童の感想文並びに受け取った高齢者の方からの礼状の一部を右のとおり掲載いたしました。



高齢者からのお礼状の一部

年賀状書きの感想文(代表文)

◇初めてこういうことをしましたが、とても楽しくこれを誰かが見ると思うと胸がたかなり、より良いものを作ろうと思いました。自分にとってとても良い第一歩だったなと思いました。来年も書きたいと思います。

五中 小室 美海

◇年賀状を手書きで書いたことがあまりなかったの
でいい経験になり楽しかったです。お年寄りの方が喜んでくれるとうれしいです。五中 茂呂 美咲輝

◇一つ一つ年賀状に思いを込めて楽しく書けたので
良かったです。五中 大野 愛菜

◇改めて、思っていることを言葉で表すことのむずかしさや、相手が明るくなるために絵などをいれるなどの工夫を入れることの大切さに再び気付くことができた、とてもきちょうなけいけんができたと思います。この活動によって人々がえがおになってくれたらとてもうれしいと思えるようになりました。本当にありがとうございました。

五小 岡田 諒介

◇すごく楽しかった年賀じょうがとどいた時のよろこぶ顔が見たい。

初小 桜澤 実華子

＜地震・台風等による災害が起きた場合住居地域のどこに避難しますか＞

避難所運営委員会をご存知ですか？市が指定する避難所は公民館の他、市内の小・中学校・高等学校他21ヶ所あります。内避難所運営委員会があるのは12ヶ所です。その内五本松小学校避難所運営委員会は五本松小学校を取り巻く地域の方々、自治会、自主防災会が集まり勉強会を開き、災害時に五本松小学校が避難所として開設された場合、スムーズに運営できるように準備をしています。よく自助・共助・公助と言われますが、共助の部分です。

災害が無く避難所を使うことが無ければ良いのですが、今後30年間に70%の確率で大地震が起こると言われています。その時に準備をしているか否かで結果は大きく違うと思います。熊本の地震では、四日後の新聞で「11万人避難、物資届かず」の見出しがありました。とは言え委員会だけが準備をしてもだめだと思います。要は、**住民の防災意識がいかに高いか**が、災害時の減災、引いては生死の分かれ目になると思います。まずは、ご家族ご近所で防災を話題にし、関心を持っていただくことが大切です。例えば「避難行動要支援者避難支援制度とは何か？」「市は、自治会は防災にどのような取り組みをしているのか？」等々、その上で出来れば、避難所運営に協力する活動に参加していただければ幸いです。

五本松小学校区自主防災会 避難所運営委員会

会長 上開地 真理男



役員

会長 ・中野 洪
副会長 ・塙 正浩 ・高橋 修
書記 ・坂本昌枝 ・長池京子
会計 ・神尾豊彦 ・鮎川昌澄
監事 ・田中時雄 ・高柳武平

委員長・部会長

広報・啓発 ・渡部伸一郎
ふれあい交流 ・塙 正浩
在宅福祉 ・藤吉峰夫
ボランティア育成 ・三枝三千子
サロン部会 ・長池京子

◆災害義援金を寄付しました

令和元年台風15号・台風19号・大雨千葉県災害義援金としてクリスマス会参加費(10,300円)を寄付しました。

◆寄せられた善意

ありがとうございました

・ニッポー株式会社様より お菓子の詰め合わせ
・鎌ヶ谷市シニアテニスクラブ様より テニスボール
・匿名様より 折り紙・布類

◆車イスをご利用下さい

無料で貸し出しております
中央東地区社協 電話 442-5144



【編集後記】

中央東地区社協の福祉活動情報等をお届けしている広報誌「おもいやり」の紙面文字を読みやすいように「縦書」から「横書」に変更しました。又保管しやすい様にページの見開きを右側→左側に変更しました。美しいカラー写真を多く掲載し、皆様にたのしく読んでいただけたと思います